

県内大会におけるコーチライセンスの導入について

岩手県バスケットボール協会
競技委員会 指導者育成委員会

- 1 一般選手権・県民体育大会・県総合選手権について
 - ・日本協会が進めている「段階的施行」のスケジュールに則って導入する。
 - ・2013年度 → 「持っていることが望ましい」
(本年度) 周知期間とする。
大会参加申込書にコーチライセンスを記入する欄を設ける。
(ライセンスなしでも参加登録は可能)
コーチ証のぶら下げ開始
 - ・2014年度 → 「原則として持っていること」
大会参加申込書に記載された監督・コーチ・アシスタントコーチのいずれかが有資格者であること。
(申込書提出後に競技委員会がチェック)
受講中の者(受講申込が完了した者)・コーチ就任1年目の者・当年度受講予定の者は認める。
 - ・2015年度 → 「必ず持っていること」
受講中の者(受講申込が完了した者)・コーチ就任1年目の者は認める。
 - ・必要な資格は、一般選手権がJBA公認E-1級コーチ以上、県民体育大会・県総合選手権がJBA公認D級コーチ以上とする。
- 2 その他の大会について
 - ・各連盟の決定によるものとする。
- 3 その他
 - ・有資格者である監督・コーチ・アシスタントコーチ(以下チームスタッフ)は同一大会において対戦する可能性のある複数のチームのチームスタッフを兼ねることはできない。(例:同じ人物が同一大会に出場する男子の異なる2つのチームにチームスタッフとして同時にエントリーすることは不可。男子1つ・女子1つのチームにチームスタッフとしてそれぞれエントリーすることは可。)